

## 令和7年 四・秋冬番茶情勢について

令和7年11月5日現在  
J A 静岡経済連 茶業課

### 1 気象状況

- (1) 気温は、9月から10月にかけて平年より高く推移しました。  
(2) 降水量は、台風15号の影響で9月は平年を上回りましたが、10月は平年より少なくなりました。

(アメダス菊川牧之原)

| 時 期  | 平均気温 (℃) |      | 降水量 (mm) |        | 日照時間 (時間) |       |
|------|----------|------|----------|--------|-----------|-------|
|      | 本 年      | 平年差  | 本 年      | 平年差    | 本 年       | 平年差   |
| 9 月  | 25.3     | +2.6 | 350.5    | +77.7  | 201.5     | +42.7 |
| 10 月 | 18.8     | +1.0 | 136.0    | ▲105.1 | 98.7      | ▲64.0 |

### 2 生産状況

- (1) 例年よりやや遅い10月上旬から開始された生産は、10月10日頃には県内全域で始まり、10月末頃には大方終了しました。一部地域の秋てん茶は、11月中旬頃まで続く見込みです。  
(2) 数年振りに操業する工場や例年収穫していない圃場を摘採する生産者、積極的に生産転換に取り組む生産者等が見られ、価格の上昇により生産意欲は高まりました。  
(3) 反収は、圃場場所や品種による格差もありますが、全体的には例年より少なくなりました。夏季の高温、三番茶芽及び秋芽生育期の少雨など気象による影響が大きいと推察されます。また、各地区での生葉移動が活発化しており、生産量は、工場間の格差が大きい状況となっています。  
(4) 県下荒茶生産量は、前年比70～80%程度（前年8,850t）を見込みます。

### 3 流通状況

- (1) 茶商在庫が少なく、減産傾向で推移したことから、ドリンク原料を中心に開始から終盤まで積極的な仕入れとなりました。  
(2) 相対取引価格は1,300円前後で開始され、最終は1,800円前後と出回り量の少なさ及び(株)静岡茶市場の入札販売結果に合わせる状況で、取引価格は徐々に上昇しました。  
(3) (株)静岡茶市場の落札価格は、回数を重ねる度に上昇し、番茶2,300円程度、秋てん茶4,000円前後、出物800円前後と例年に無い高値で取引されました。  
(4) 県下荒茶取引価格は、前年比400～500%程度（前年355円）を見込みます。

### 4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

(単位：kg・円・%)

| 項 目       |       | 令和7年(11/4現在) |       | 令和6年最終実績  |     | 前年比  |       |
|-----------|-------|--------------|-------|-----------|-----|------|-------|
|           |       | 数量           | 単価    | 数量        | 単価  | 数量   | 単価    |
| 静岡<br>茶市場 | 県内産   | 284,410      | 2,063 | 334,739   | 342 | 85.0 | 602.6 |
|           | (内入札) | 79,411       | 2,963 | —         | —   | —    | —     |
|           | 県外産   | 249,318      | 2,365 | 272,722   | 368 | 91.4 | 642.7 |
| 鹿児島茶市場    |       | 1,074,467    | 2,511 | 1,139,988 | 379 | 94.3 | 661.7 |

#### (株)静岡茶市場情報（11月4日現在）

県内産秋冬番茶の取引は最終盤で、入札コーナーへの出品も秋てん茶・有機栽培茶が中心で、価格はほぼもちあいの状況が続いています。

県外産の取引は鹿児島県がほぼ終了し、終盤は3,000円台になるなど、前例のない価格高騰の秋冬番茶となりました。

以 上